

宜野湾市をもっと健康に！

第3期保健事業実施計画 —データヘルス計画—

宜野湾市では、国民健康保険加入者の「健康の保持増進」「医療費・介護費の伸びの抑制」を図ることを目的に「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定しました。計画は令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）の6年間で、効果的かつ効率的な保健事業を実施し、健康課題の解決に取り組んで参ります。

データヘルス計画ってなに？

データヘルス計画とは、被保険者の健診情報やレセプトデータ（医療費情報）などの「健康医療情報」を分析・活用することで、医療保険者それぞれの課題を把握し、分析結果をもとに効率的・効果的な保健事業の実施を図る計画です。

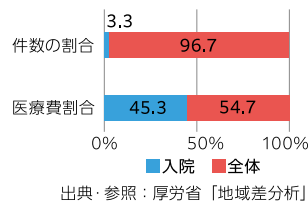
策定された計画をもとに、PDCA サイクルに沿った事業運営を行い、生活習慣病の発症予防および重症化予防に取り組むことで、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸や医療費の適正化を目指します。

宜野湾市が抱える4つの課題

①入院医療費の割合が高い

全国と比較して入院医療費の割合が高く、全体の件数の3%程度にもかかわらず医療費割合は45%を占めている。中でも慢性腎不全（人工透析）、循環器疾患（脳血管疾患・虚血性心疾患）の医療費が高い。

【入院医療費の割合】



②要介護認定者の脳疾患・生活習慣病の割合

要介護認定者では全年齢を通して脳血管疾患の割合が高い。また、基礎疾患である高血圧・糖尿病等の有病状況は、全年齢で約9割以上と非常に高い割合となっている。

【要介護認定を受けている人の年代ごとの有病率】

疾患	40～64歳	65～74歳	75歳以上
脳卒中	75.4%	51.8%	53.2%
虚血性心疾患	11.5%	28.6%	38.9%
腎不全	8.2%	16.8%	23.0%
基礎疾患	90.2%	90.7%	95.0%

※1人に複数診断あり

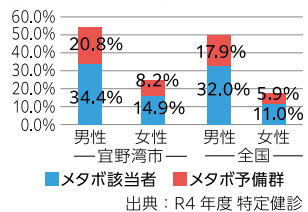
出典・参照：厚労省「地域差分析」

③メタボ割合

メタボリックシンドロームは、脳梗塞や心筋梗塞の原因となる動脈硬化のリスクを高める。

宜野湾市は全国よりメタボ（該当者・予備群）の割合が高く、男性で2人に1人、女性で4人に1人が該当。

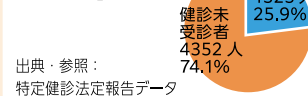
【男女別メタボの割合】



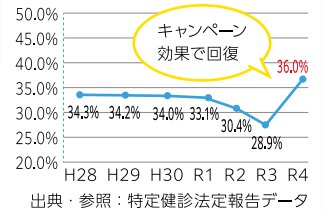
④特定健診受診率

健診受診率が低い。特に若い世代（40～59歳）の受診率は4人に1人。

【R4年度40～59歳健診受診率】



【特定健診受診率の推移】



今後の目標

脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の該当者を減らします！



短期目標

医療費が高額となる疾患、6カ月以上の長期入院となる疾患、人工透析になる疾患および脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制します！



中長期目標

宜野湾市の取り組み

①特定健診受診率向上

- ・Go! Go!とくとか特定健診キャンペーン実施（R4～R6）
- ・未受診者への受診勧奨（ハガキ、TEL、ショートメッセージ、ポスター、LINE等による周知）

②特定保健指導

- ・主要達成目標を腹囲マイナス2cm、体重マイナス2kg、生活習慣病予防につながる行動変更等を評価指標として行う。

③CKD（慢性腎臓病）・糖尿病性腎臓病重症化予防対策

- ・「じのーん腎プロジェクト」（病診連携）を推進し、新規人工透析患者数の減少を目指す。

④循環器疾患対策

- ・高血圧対策（医療への受診勧奨、減塩や肥満の解消等、保健指導の実施）
- ・要医療者受診勧奨（医療への受診勧奨、治療継続されているか確認を行う）

⑤その他

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（継続した保健指導・通いの場等での健康教育）
- ・ポピュレーションアプローチ（市民全体を対象とした健康教育の実施）



問合せ：保健相談センター ☎898-5598